

第219回簡易アンケート「防犯情報ツールについて」の結果を公表しました。

1 調査の概要

(1) 調査形態

- ・ 調査時期：令和5年1月12日（木曜日）～1月18日（水曜日）
- ・ 調査方法：インターネット（アンケート専用フォームへの入力）による回答
- ・ 対象者：県政サポーター（3,313人）
- ・ 回収率：66.3%（回収数2,197人）
- ・ 回答者の属性：（百分率表示は、小数点以下第二位を四捨五入したため、個々の比率の合計は、100%にならない場合がある。）

回収者属性

	人数(人)	比率(%)
全体	2,197	100.0

	人数(人)	比率(%)	
年齢	16～19歳	8	0.4
	20～29歳	99	4.5
	30～39歳	204	9.3
	40～49歳	437	19.9
	50～59歳	582	26.5
	60～69歳	399	18.2
	70歳以上	468	21.3

	人数(人)	比率(%)	
職業	個人事業主・会社経営者(役員)	219	10.0
	家族従業(家業手伝い)	10	0.5
	勤め(全日)	823	37.5
	勤め(パートタイム)	338	15.4
	専業主婦・主夫	320	14.6
	学生	39	1.8
	その他、無職	448	20.4

	人数(人)	比率(%)	
性別 ※任意回答 (総数:2,151人)	男性	1,252	58.2
	女性	867	40.3
	回答なし	32	1.5

(2) 調査結果の見方

- ア 設問中の（ ）内の数字及びグラフの中の数字は、回答比率（％）です。
- イ 回答比率（％）は小数点以下第二位を四捨五入したため、個々の比率の合計と全体またはカテゴリーを小計した数値が、100％にならないことがあります。
- ウ 図表中の「-」は回答者が皆無のもの、「0.0」は回答者の比率が0.05％未満のため四捨五入の結果0.0％となったものです。
- エ グラフの中で「n」とあるのは、その質問の回答者の総数を示し、回答比率は「n」を基数として算出しています。
- オ 複数回答の質問については、その回答比率の合計は、100％を超える場合があります。

2 調査の目的

県警察では、県民の防犯対策に役立てていただくことを目的に、地域の犯罪情報や防犯対策をメールマガジンやSNS等で配信しています。

県政サポーターの皆さまから、県警察の防犯情報ツールの周知方法や情報内容に関する御意見を伺い、更に多くの県民に防犯情報をお届けし、活用していただくためアンケートを実施しました。

担当課

埼玉県警察本部生活安全部生活安全総務課情報発信係

電話：048-832-0110（内線3488）

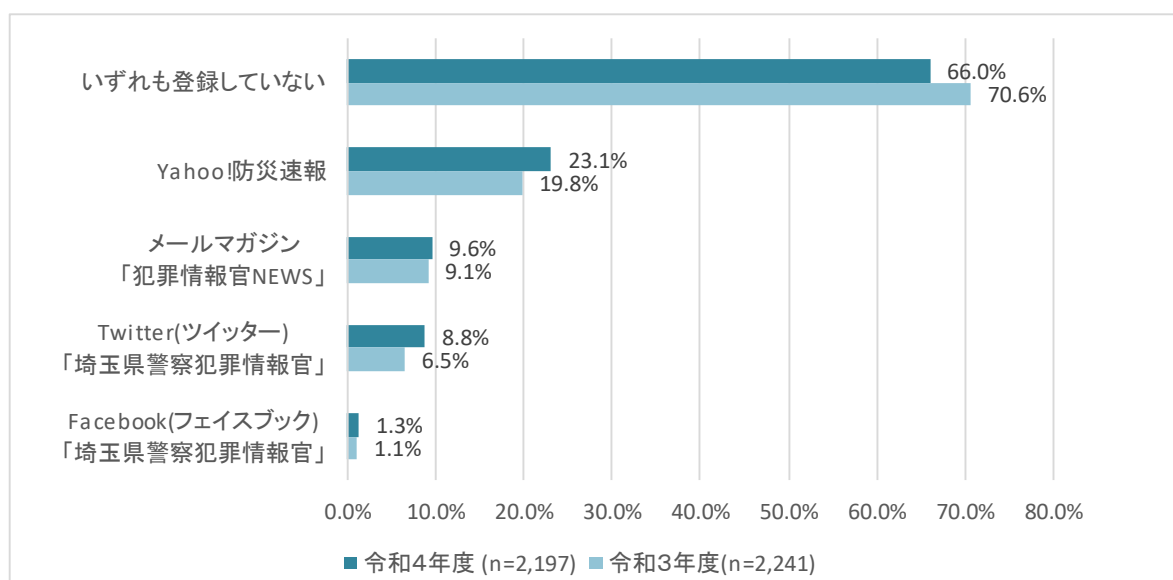
3 調査結果

防犯情報ツールの登録状況

→ 「いずれも登録していない」が6割半ば超(66.0%)

質問 1

あなたは、県警察が発信している防犯情報ツールを登録していますか。(あてはまるものすべて)



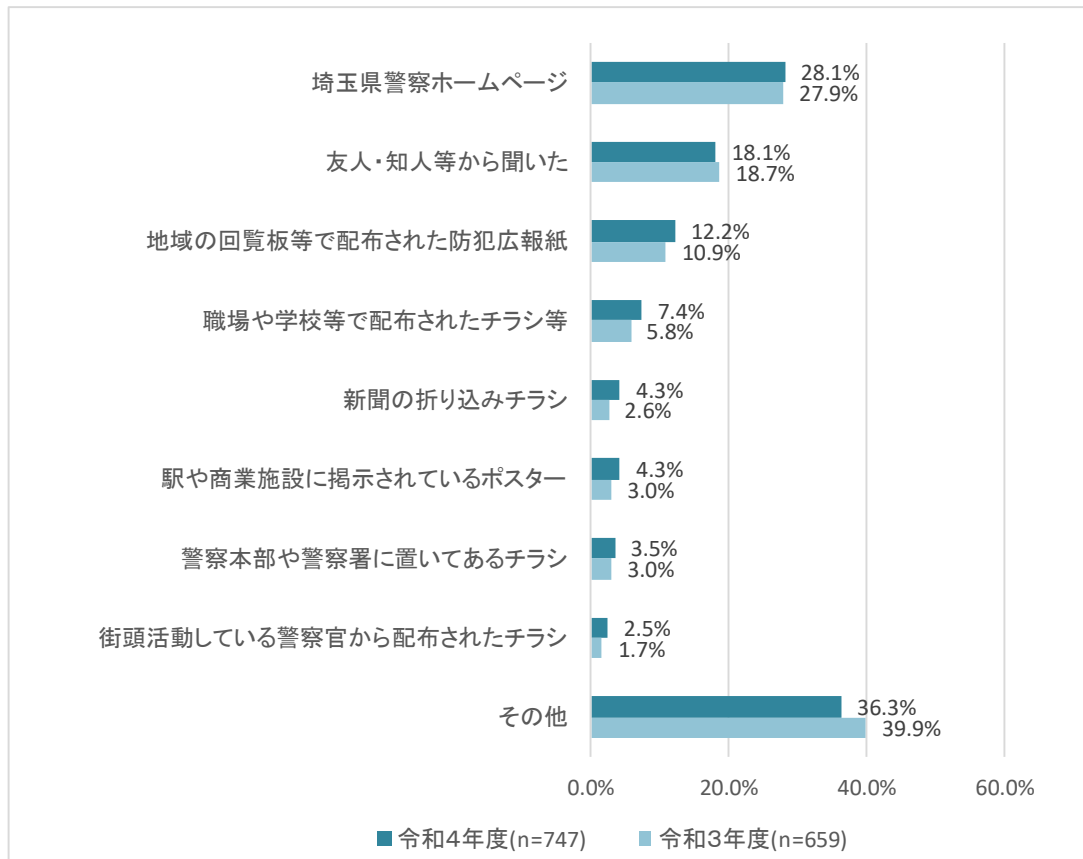
県警察が発信している防犯情報ツールの登録状況について尋ねたところ、「いずれも登録していない」が最も多く6割半ば超(66.0%)であった。次いで、「Yahoo!防災速報」が2割強(23.1%)であった。

防犯情報ツールの登録機会

→「埼玉県警察ホームページ」が3割弱(28.1%)

質問2(質問1でいずれかの防犯情報ツールを登録していると回答した方にお伺いします。)

あなたは、登録している防犯情報ツールをどのような機会で見ましたか。(あてはまるものすべて)



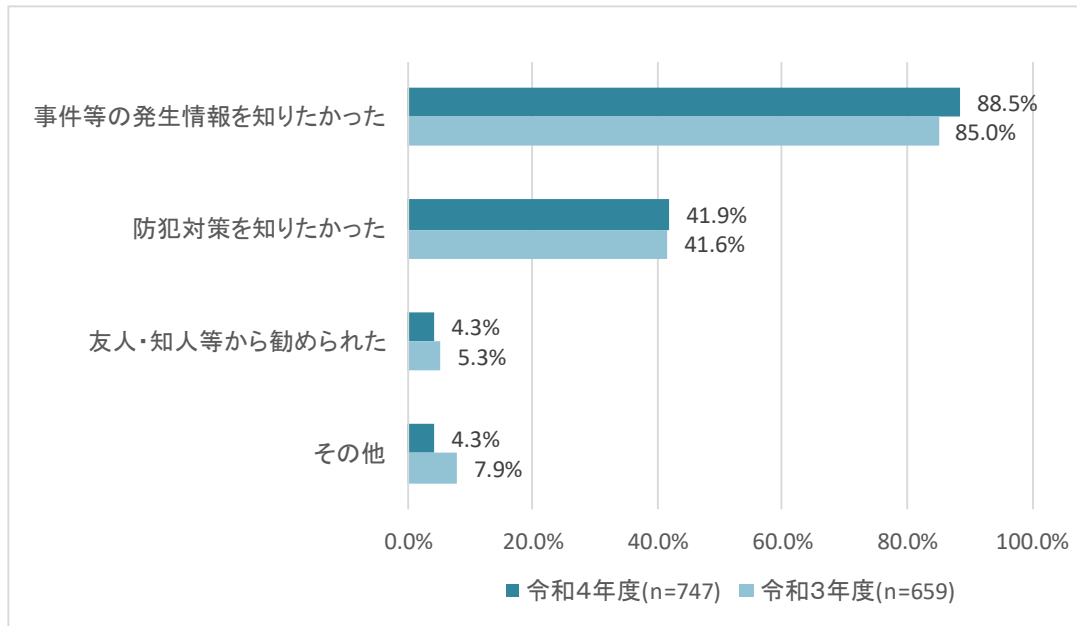
防犯情報ツールを登録している方にどのような機会で見つけたかを尋ねたところ、「埼玉県警察ホームページ」が最も多く3割弱(28.1%)であった。次いで、「友人・知人等から聞いた」が2割弱(18.1%)であった。

防犯情報ツールの登録理由

→「事件等の発生情報を知りたかった」が9割弱(88.5%)

質問3(質問1でいずれかの防犯情報ツールを登録していると回答した方にお伺いします。)

あなたが防犯情報ツールを登録したのは、どのような理由からですか。(あてはまるものすべて)



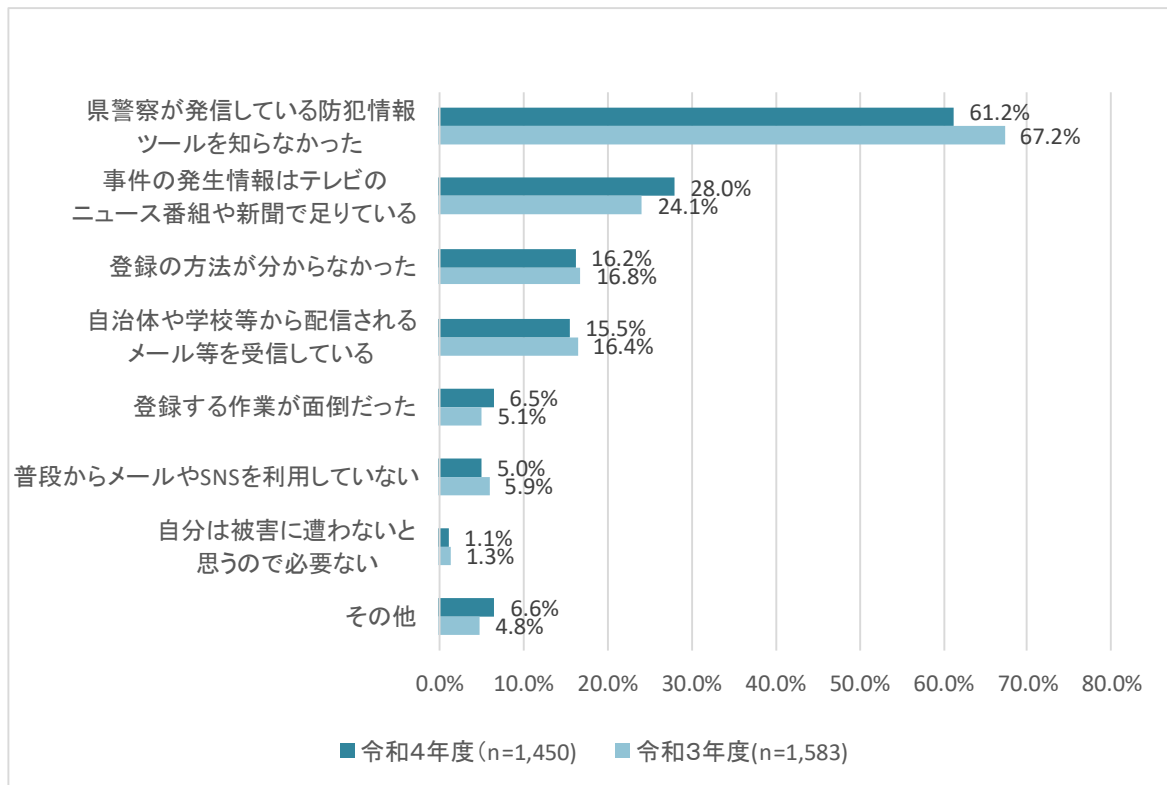
質問1で防犯情報ツールを登録している方に登録している理由を尋ねたところ、「事件等の発生情報を知りたかった」が最も多く9割弱(88.5%)であった。次いで、「防犯対策を知りたかった」が4割強(41.9%)であった。

防犯情報ツールの未登録理由

→「県警察が発信している防犯情報ツールを知らなかった」が6割強(61.2%)

質問4（質問1で「いずれも登録していない」と回答した方にお伺いします。）

あなたが、防犯情報ツールを登録していないのは、どのような理由からですか。（あてはまるものすべて）



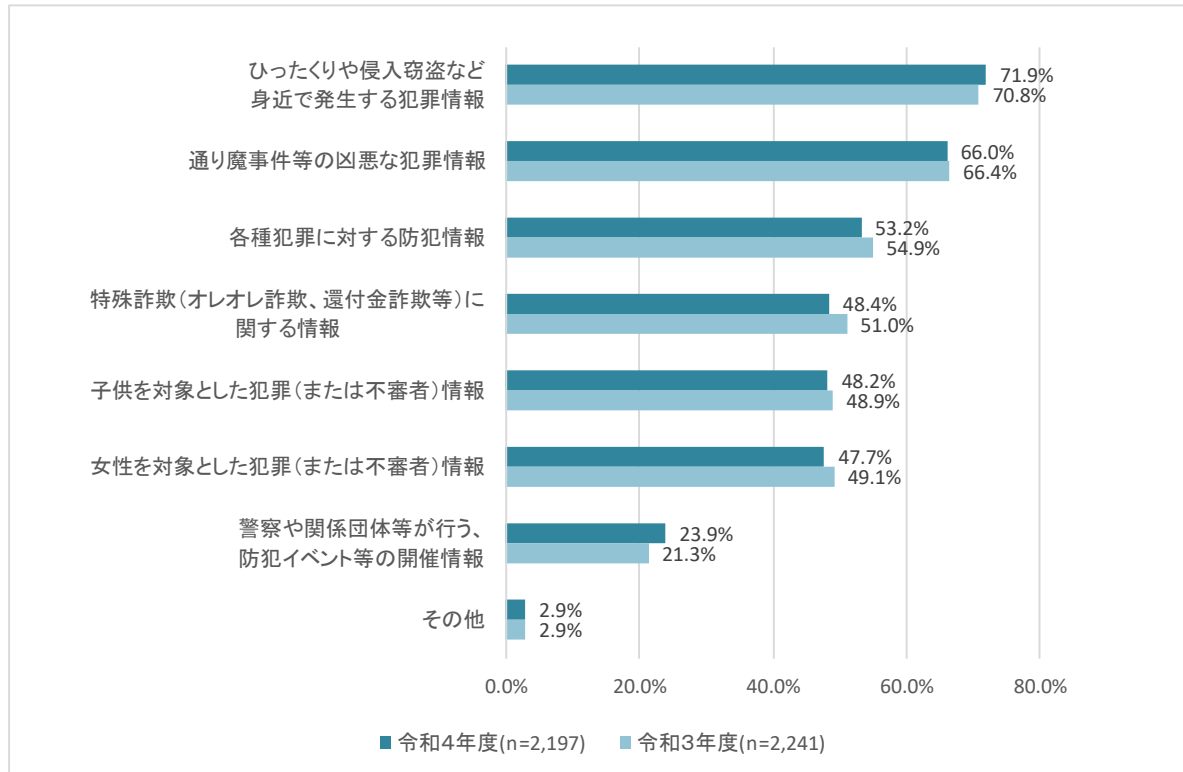
質問1で「いずれも登録していない」と回答した方に、登録していない理由について尋ねたところ、「県警察が発信している防犯情報ツールを知らなかった」が最も多く6割強(61.2%)であった。次いで「事件の発生情報はテレビのニュース番組や新聞で足りている」が3割弱(28.0%)であった。

防犯情報ツールで配信して欲しい情報

→「ひったくりや侵入窃盗など身近で発生する犯罪情報」が7割強(71.9%)

質問5

あなたが、必要としている防犯情報は、どのような情報ですか。(あてはまるものすべて)



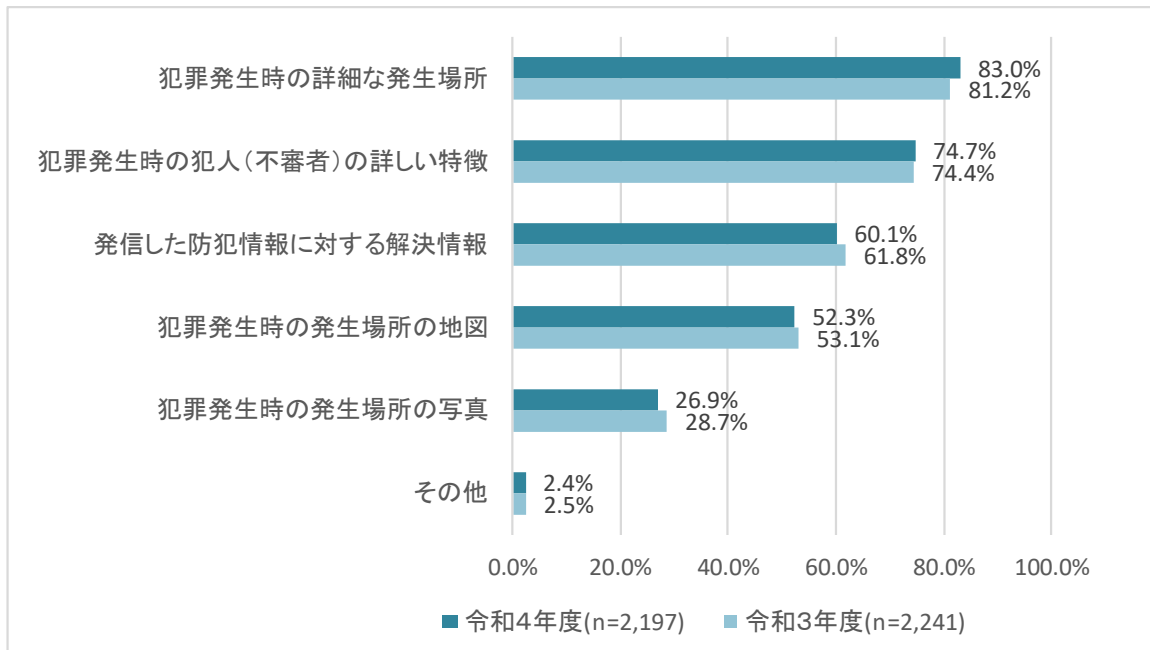
防犯情報ツールで配信して欲しい情報について尋ねたところ、「ひったくりや侵入窃盗など身近で発生する犯罪情報」が最も多く7割強(71.9%)であった。次いで「通り魔事件等の凶悪な犯罪情報」が6割半ば超(66.0%)であった。

配信情報の内容

→「犯罪発生時の詳細な発生場所」が8割強（83.0%）

質問6

あなたが、必要としている防犯情報の内容は、どのような内容ですか。（あてはまるものすべて）



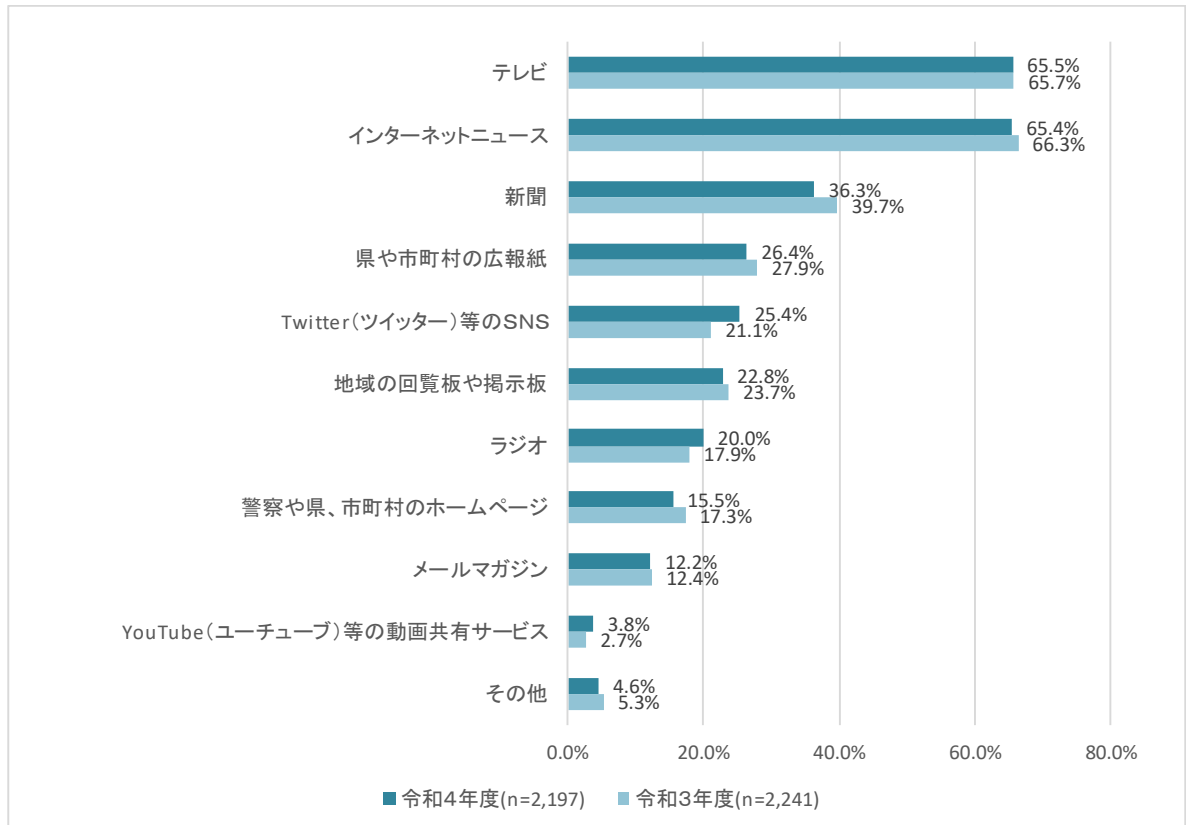
必要としている情報発信の内容について尋ねたところ、「犯罪発生時の詳細な発生場所」が最も多く8割強（83.0%）であった。次いで「犯罪発生時の犯人(不審者)の詳しい特徴」が7割半ば（74.7%）であった。

防犯情報を何から得ているか

→「テレビ」が6割半ば(65.5%)

質問7

あなたは、どのような媒体から地域の防犯情報を得ていますか。(あてはまるものすべて)



どのような媒体から地域の防犯情報を得ているか尋ねたところ、「テレビ」が最も多く6割半ば(65.5%)であった。次いで「インターネットニュース」が6割半ば(65.4%)であった。

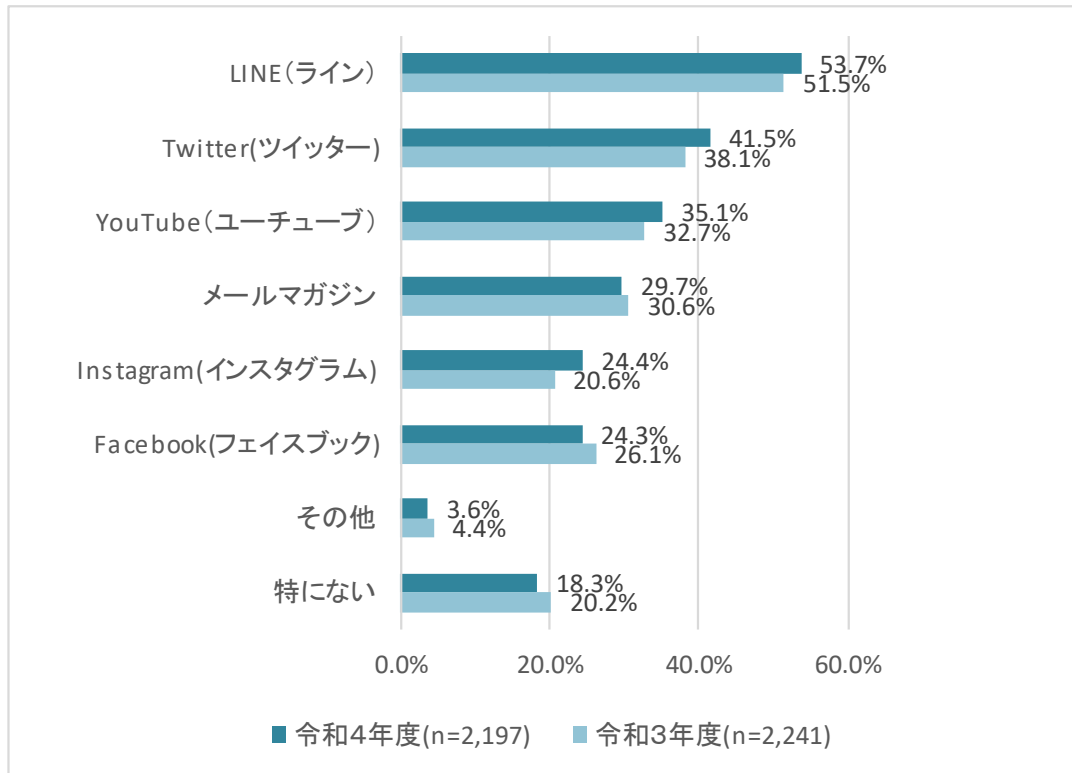
普段から利用しているインターネットツール

→ 「LINE」が5割強(53.7%)

質問 8

あなたが、普段から情報を得るために利用しているインターネットツールは何ですか。

(あてはまるものすべて)



普段から利用しているインターネットについて尋ねたところ、「LINE」が最も多く5割強(53.7%)であった。次いで「Twitter」が4割強(41.5%)であった。

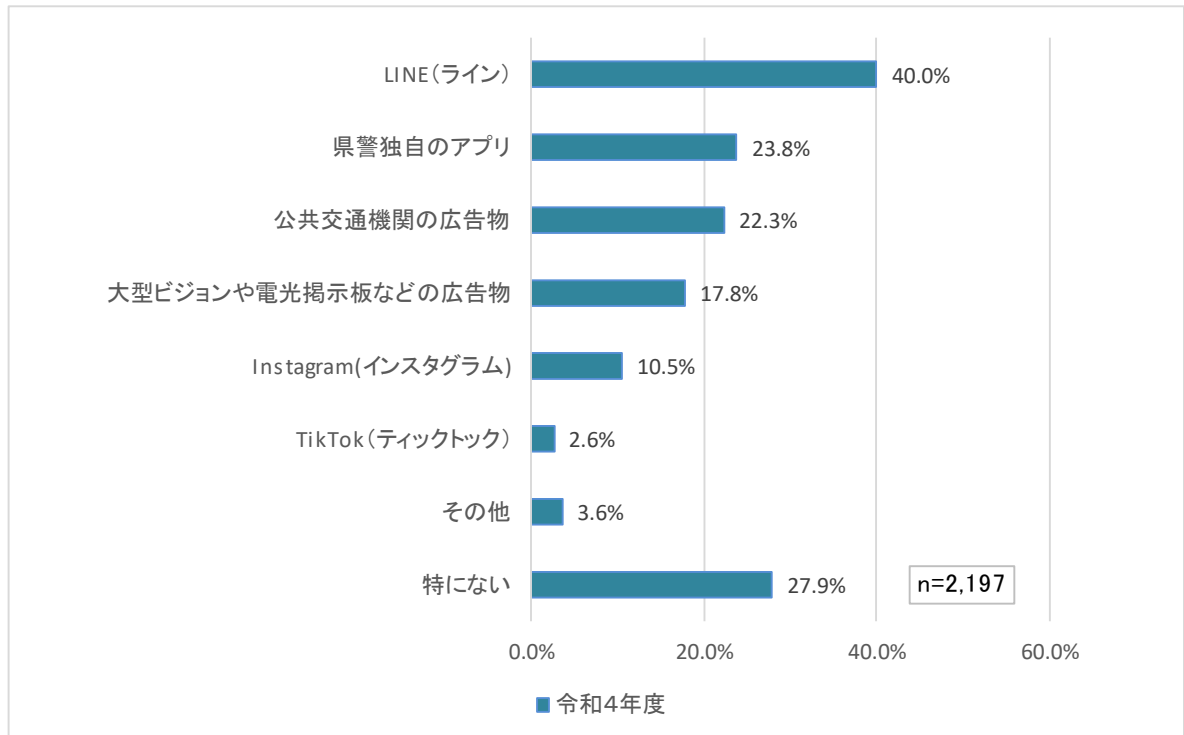
今後活用したい防犯情報ツール

→「LINE」が4割(40.0%)

質問 9

県警察から防犯情報を発信する際に、新たに活用してほしいと思うツールは何ですか。

(あてはまるものすべて)



今後活用したい防犯情報ツールについて尋ねたところ、「LINE」が最も多く4割(40.0%)であった。次いで「県警独自のアプリ」が2割強(23.8%)であった。